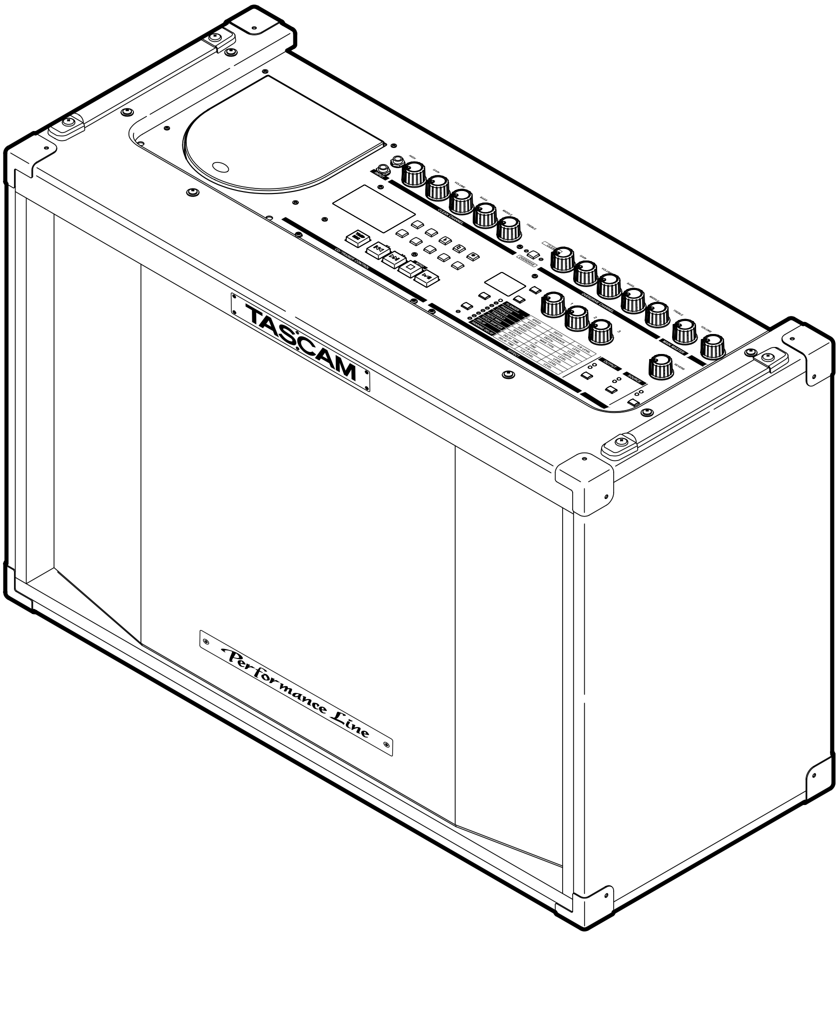
D00907000A

TASCAM
TEAC Professional Division

GA-100CD

Instrument Amplifier

取扱説明書



安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器を設置する場合は、壁から20 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10 cm以上のすきまを空けてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠注意

オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。

電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

この機器には、付属の電源コードセットをご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

付属の電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

もくじ

安全にお使いいただくために 2
もくじ 4
1 はじめに 5
主な特長 5
取扱説明書の表記について 5
製品構成 5
設置場所についてのご注意 6
使用上のご注意 6
CD（コンパクトディスク）の取扱い 6
2 各部の名称と機能 7
トップパネル 7
ギターアンプ部 7
INPUT セクション 7
CLEAN CHANNEL セクション 7
チャンネルスイッチセクション 8
オーバードライブセクション 8
MASTER セクション 8
エフェクター部 8
EFFECT セクション 8
REVERB セクション 9
CD トレーナー部 9
リアパネル 11
LCD 部 12
3 接続 13
ギターの接続 13
フットスイッチの接続 13
外部エフェクターの接続 13
ヘッドホンの接続 13
外部音源の接続 13
4 ギターアンプを使う 14
チャンネルを選択する 14
音量と音質を調節する 14
5 エフェクターを使う 15
エフェクター（EFFECT） 15
エフェクターを選択する 15
パラメータを設定する 15
エフェクターのプリセット 16
エフェクターのプリセットを初期状態に戻す 16
出力を選択する 16
リバーブ（REVERB） 16
エフェクトバンク 16
バンクを切り換える 16
6 CD プレーヤーを使う 17
CD を再生する 17
CD 再生レベルの調節 17
時間表示を切り換える 17
希望の範囲を繰り返し再生する 17
1 曲または全曲を繰り返し再生する 17
テンポを変える 17
テンポの設定 17
テンポモードのオン／オフ 18
キーを変えずにテンポを変える（VSA） 18
キーを変える 18
キーの設定 18
キーモードのオン／オフ 18
ギターの音をキャンセルする 18
ギターキャンセル機能の設定 18
CD 再生レベルの設定 18
7 チューナーを使う 19
準備 19
チューニングモードを選択する 19
スピーカーのオン／オフを設定する 19
基準周波数を設定する 19
クロマチックモードでチューニングする 19
ギターモードでチューニングする 19
8 オシレーター／メトロノームを使う 20
オシレーターを使う 20
メトロノームを使う 20
9 各種設定を行なう 21
再生モードの選択 21
フットスイッチの機能 21
フットスイッチの極性 21
チューナーモードの選択 21
チューナー音のスピーカー出力オン／オフ 21
エフェクタープリセットの初期化 21
音作りの参考例 22
10 仕様 24
GUITAR AMP 部 24
CD 部 24
寸法図 25
ブロックダイアグラム 26

1 はじめに

このたびはGA-100CDをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。GA-100CDは60W出力、12インチスピーカー搭載のギターアンプで、徹底的に真空管アンプをモデリングした回路構成により重厚感あふれるサウンドを実現しています。また高性能エフェクターを内蔵していますので、外部のエフェクターを使わずに自在な音作りが可能です。さらに内蔵のCDプレーヤーを使って、CDに合わせた練習や、あらかじめ録音したCDをバッキングにしたライブ演奏などが可能です。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解いただいた上で、充分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。

主な特長

ギターアンプ部

- 出力60W 、12インチ（30cm）スピーカー搭載。
- クリーンチャンネルとオーバードライブチャンネルの２チャンネル構成。リモート操作によるチャンネル切り換えも可能。
- ディストーション量を調節できるGAINつまみと音量のみを調節するVOLUMEつまみを装備した２ボリューム方式を採用。
- 真空管アンプの動作をアナログ回路によってシミュレートすることにより、DSPによるギターアンプのモデリングでは不可能な応答の速い動作が可能。
- 真空管アンプと同様のシングルエンドプリアンプとプッシュプルパワーアンプの構成をプリアンプ段で再現し、真空管アンプに限りなく近い重厚感あふれるサウンドを実現。
- ICパワーアンプの採用により、メンテナンス不要で安定した性能を提供。
- パワーアンプに的確な電流負帰還をかけることによって、理想的なキャビネットの鳴りを実現。

DSPエフェクター部

- タスカム定評のDSPエフェクターを２基内蔵。１基目はエフェクターで、（ステレオ）ディレイ、パンニングディレイ、フランジャー、フェイザー、コーラス、トレモロ、オートワウ、ピッチシフターから選択可能。。２基目はリバーブ専用。
- エフェクター音を左右のサブスピーカーから出力することで、スペイシーなサウンド表現が可能（メインスピーカーからの出力も可能）。
- フットスイッチによるエフェクターのバンク制御が可能。

CDトレーナー部

- 定評あるタスカムのCDトレーナーを搭載。
- ピッチやテンポのコントロールが自在なCDプレーヤー装備。
- 再生ピッチを保ったまま再生速度を可変できるVSA機能搭載。
- －50%～＋16%のバリスピード。
- 上下６音半のキー可変。
- ギターキャンセル機能で、CDの再生音から特定の定位成分や音域をカット。
- 任意の範囲を繰り返し再生可能（ループ再生）。
- ギターアンプと独立して、CD再生用のステレオアンプ（20W＋20W）と５インチ（12cm）のサブスピーカー２本を搭載。これによりCDのクリアな再生が可能。
- 内蔵のギターチューナーを使って簡単にギターのチューニングを行なうことが可能。
- メトロノーム内蔵。

その他

- 外部エフェクター接続用としてエフェクトセンド／リターン端子搭載。
- 外部音源などの接続用としてステレオライン入力端子装備。
- ヘッドフォン端子装備。

取扱説明書の表記について

- 本機のキーの中には、長く（0.5秒以上）押し続けた場合とポンと（0.5秒以内）押した場合で機能が異なるものが多くあります。本取扱説明書では、前者の場合（0.5秒以上押す場合）「キーを長く押します」と表記し、後者の場合（ポンと押す場合）は単に「キーを押します」と表記します。

製品構成

本機の構成は以下の通りです。

なお、本機を開梱する時、損傷を与えないよう慎重に行なってください。梱包箱と梱包材は後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、当社までご連絡ください。

1. GA-100CD	×１
2. 電源コード	×１
3. 取扱説明書	×１
4. 保証書	×１

設置場所についてのご注意

1 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。

- 振動の多い場所や不安定な場所。
- 窓際など直射日光が当たる場所。
- 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所。
- 極端に温度が低い場所。
- 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。

2 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。

3 テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。

4 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

使用上のご注意

電源について

AC100V（50―60Hz）以外の電源には接続しないでください。

電源コードの抜き差しは、プラグを持って行なってください。

本体の手入れ

化学ぞうきんやベンジン、シンナー系の液体で本機を拭かないでください。表面を傷める原因となります。キャビネットやパネルの汚れは、薄めた中性洗剤液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

結露現象について

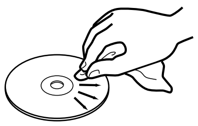
本製品を寒い場所から暖かい場所に移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは約１～２時間放置した後、電源を入れてお使いください。

CD（コンパクトディスク）の取扱い

本機のCDプレーヤーはCD-DAフォーマットのCDを再生することができます。

市販のオーディオCD（120mm／80mm）だけではなく、正しくオーディオを記録したCD-R/CD-RWを使うことができます。

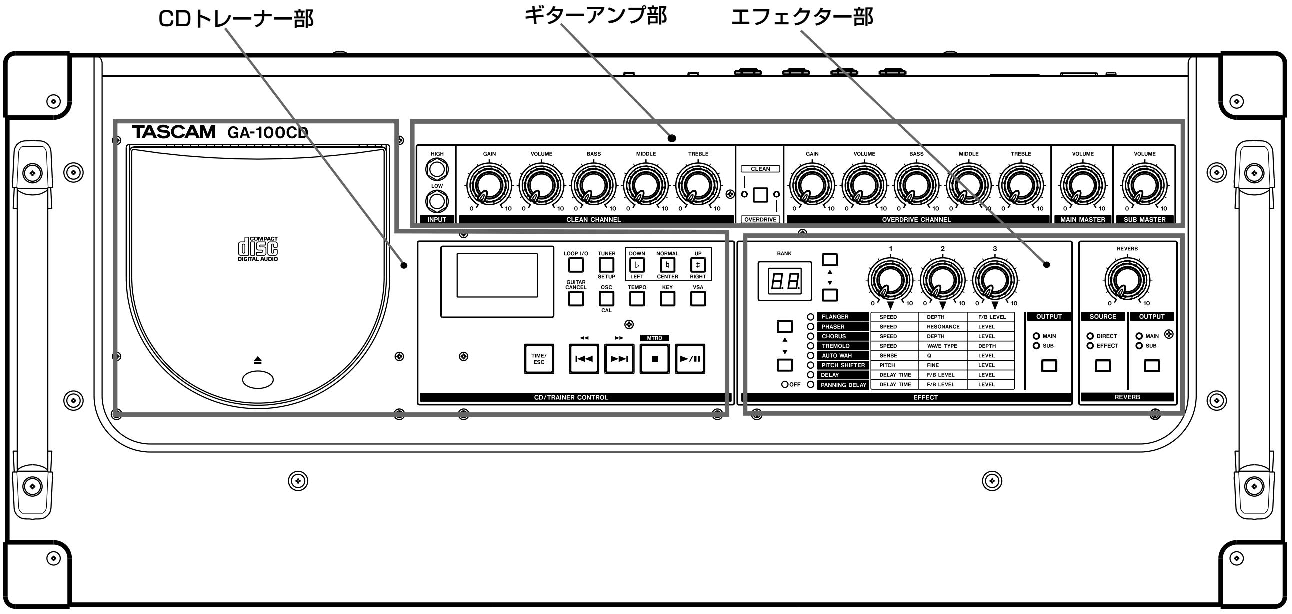
- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。ディスクの汚れは、音飛びの原因となりますので、いつもきれいに清掃し、ケースに入れて保管してください。



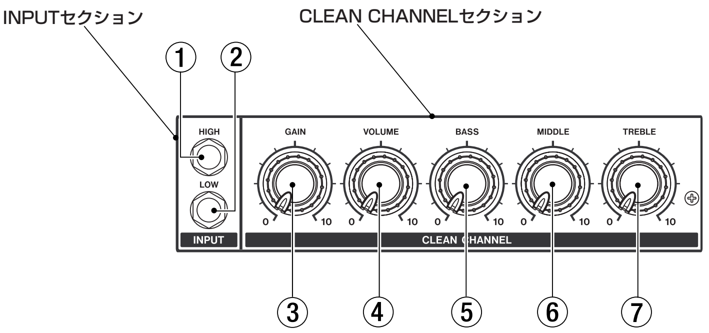
- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当る場所や、高温多湿な場所に置かないでください。長時間放置するとそりなどの原因となります。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またはシールなどから糊がはみ出しているものは、使用しないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- CDを取り出す場合に、CDのカバーを開けた直後はまだCDが回転していることがあります。このような場合は、CDの回転が止まってからCDを取り出してください。

2 各部の名称と機能

トップパネル



ギターアンプ部



INPUT セクション

ギターを接続します。

① HIGH

高入力インピーダンス（6.8M Ω）の入力端子です。出力インピーダンスの高いギターを接続します。

② LOW

低入力インピーダンス（68k Ω）の入力端子です。出力インピーダンスの低いギターを接続します。

CLEAN CHANNEL セクション

プリアンプのクリーンチャンネルをコントロールします。チャンネルスイッチセクションのCLEAN インジケーターが緑色に点灯しているときに有効です。

③ GAIN つまみ

入力ゲインを変えることによりひずみ量を調節します。シングルコイルピックアップのギターを接続した場合、４くらいの位置から徐々にひずみを増していきます。

④ VOLUME つまみ

音量を設定します。音色は変化しません。

⑤ BASS つまみ

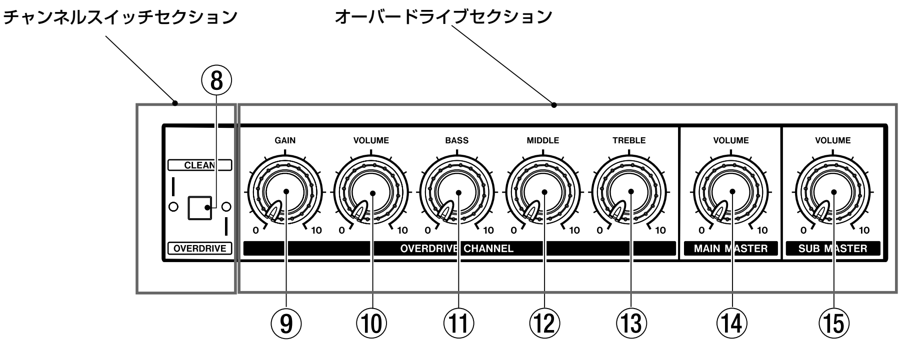
低音域を調節します。

⑥ MIDDLE つまみ

中音域を調節します。

⑦ TREBLE つまみ

高音域を調節します。



チャンネルスイッチセクション

⑧ チャンネルスイッチ

クリーンチャンネルとオーバードライブチャンネルを切り換えます。

設定に応じて、CLEANまたはOVERDRIVEインジケーターが点灯します。同時に、エフェクトバンク（→16ページ）もCLEANもしくはOVERDRIVE用に切り替わります。

オーバードライブセクション

プリアンプのオーバードライブチャンネルをコントロールします。チャンネルスイッチセクションのOVERDRIVEインジケーターが赤色に点灯しているときに有効です。

⑨ GAINつまみ

入力ゲインを変えることによりひずみ量を調節します。ひずみ量が大きく設定されていますので、低い位置でもひずみます。

⑩ VOLUMEつまみ

音量を設定します。音色は変化しません。

⑪ BASSつまみ

低音域を調節します。

⑫ MIDDLEつまみ

中音域を調節します。

⑬ TREBLEつまみ

高音域を調節します。

MASTERセクション

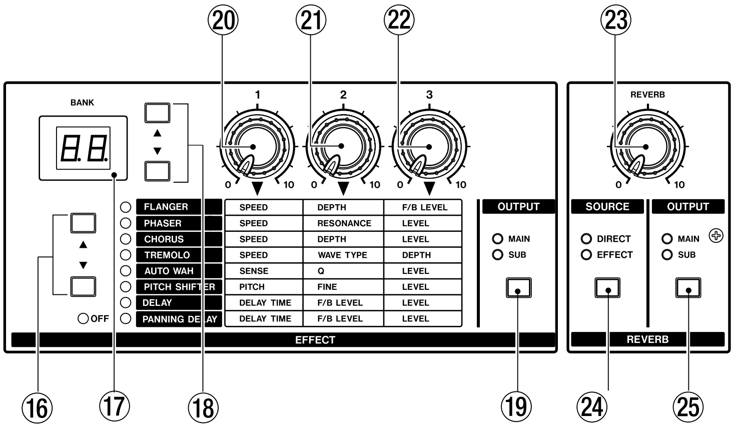
⑭ MAIN MASTER

メインスピーカー（12インチ）に送る出力信号全体の音量を調節します。メインスピーカーにはギターアンプ出力のほかに、エフェクター出力を送ることもできます。

⑮ SUB MASTER

2個のサブスピーカー（5インチ）に送る出力信号全体の音量を調節します。サブスピーカーにはCDトレーナー出力のほかに、エフェクター出力を送ることもできます。

エフェクター部



EFFECTセクション

内蔵エフェクターの設定を行ないます。

⑯ バンク選択キー（▲、▼）

エフェクターのプリセットバンクを選択します。（→16ページ「バンクを切り換える」）

⑰ BANK表示窓

選択中のバンク番号が表示されます。

⑱ エフェクト選択キー（▲、▼）

エフェクトを選択します。選択できるエフェクトはディレイ、パンニングディレイ、フランジャー、フェイザー、コーラス、トレモロ、オートワウ、ピッチシフターのうち一つです。

選択に応じて、左のエフェクトインジケーターが点灯します。

⑲ OUTPUTキー

エフェクト信号出力（ウェット）をメインスピーカー、サブスピーカーまたは両方に送ることができます。OUTPUTキーを押すたびに出力先設定が変わり、設定に応じてインジケーター（MAIN、SUBまたは両方）が点灯します。

⑳ エフェクト設定ノブ1

選択されたエフェクターの一次的なパラメーター設定をします。各エフェクターで設定できるパラメーターはトップパネルに表示されています。

㉑ エフェクト設定ノブ2

選択されたエフェクターの二次的なパラメーター設定をします。各エフェクターで設定できるパラメーターはトップパネルに表示されています。

㉒ エフェクト設定ノブ3

選択されたエフェクターの三次的なパラメーター設定をします。各エフェクターで設定できるパラメーターはトップパネルに表示されています。

REVERBセクション

内蔵リバーブの設定を行ないます。

㉓ レベルつまみ

リバーブ信号（ウェット）の出力レベルを設定します。

㉔ SOURCEキー

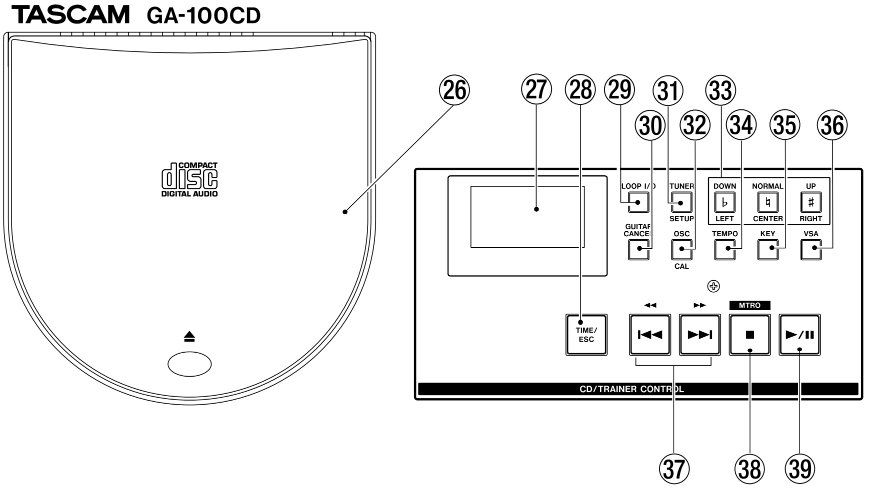
リバーブの入力信号を選択します。

DIRECTを選択すると、INPUT端子からのギター入力信号にリバーブが掛かります。EFFECTを選択すると、マルチエフェクター出力信号にリバーブが掛かります。また、両方を選択することも可能です。

㉕ OUTPUTキー

リバーブ信号（ウェット）の出力先を設定します。メインスピーカー、サブスピーカーまたは両方に送ることができます。OUTPUTキーを押すたびに出力先設定が変わり、設定に応じてインジケーター（MAIN、SUBまたは両方）が点灯します。

CDトレーナー部



CDトレーナー部には、CDプレーヤー機能の他に、チューナー、メトロノーム、オシレーターなどの機能があります。

㉖ CDプレーヤーカバー

手前の〈openマーク〉を軽く押すとカバーが開きます。

㉗ CDトレーナー表示窓

CDトレーナーの状態を表示します。

㉘ TIME/ESCキー

時間表示画面でこのキーを押すと、表示窓内の時間表示が換わります。

メニューモードでの設定時にこのキーを押すと、各設定モードを抜けて時間表示画面に戻ります。

㉙ LOOP I/Oキー

ループ再生を行なうときに使います。

CD再生中（または一時停止中）にこのキーを押すと、IN点（始点）を設定します。もう一度このキーを押すと、OUT点（終点）を設定し、自動的にループ再生を開始します。

IN点とOUT点が設定されている場合は、このキーを長く押す度にIN-OUT間ループ再生のオン/オフを切り替えます。

また、IN点とOUT点が設定されていない場合は、このキーを長く押す度に1曲繰り返しまたは全曲繰り返しのオン/オフを切り替えます。

（→17ページ「希望の範囲を繰り返し再生する」）（→17ページ「1曲または全曲を繰り返し再生する」）

㉚ GUITAR CANCELキー

このキーを押すとギターキャンセルモードのオン/オフを切り替えます。このキーを長く押すと、ギターキャンセル設定モードになります。いったんギターキャンセル設定モードに入ると、このキーを押すたびに設定項目が切り換わります。（→ 18ページ「ギターの音をキャンセルする」）

㉛ TUNER／SETUP キー

このキーを押すと、チューナーモードのオン／オフが切り換わります。チューナーの詳細設定はセットアップモードで行ないます。（→ 19ページ「チューナーを使う」）

このキーを長く押すとセットアップモードになります。セットアップモードではCD再生レベル、CD再生モード、フットスイッチの機能、チューナー機能などを設定します。いったんセットアップモードに入ると、このキーを押すたびに設定項目が切り換わります。（→21ページ「各種設定を行なう」）

㉜ OSC／CALキー

このキーを押すとオシレーターモードになり、任意の音程の信号をサブスピーカーから出力することができます。（→ 20ページ「オシレーターを使う」）

このキーを長く押すと基準周波数を設定するキャリブレーションモードになります。（→ 19ページ「基準周波数を設定する」）

㉝ 設定変更用キー

３個の設定変更用キーを使って、各設定項目の設定を変更することができます。

- ♭／DOWN／LEFT ：値を下げたり、定位を左に移動するときに使います。
- ♮／NORMAL／CENTER ：デフォルト値やセンター値に戻すときに使います。
- ♯／UP／RIGHT ：値を上げたり、定位を右に移動するときに使います。

㉞ TEMPOキー

このキーを押すと、テンポモードのオン/オフを切り替えます。このキーを長く押すと、テンポ設定モードになります。（→ 17ページ「テンポの設定」）

㉟ KEYキー

このキーを押すと、キーモードのオン/オフを切り替えます。このキーを長く押すと、キー設定モードになります。（→ 18ページ「キーの設定」）

㊱ VSAキー

このキーを押すとVSA（Variable Speed Audition）モードになり、表示窓に "**VSA**" が点灯します。VSA機能をオンにすると、曲のキーを保ったままテンポを変えることができます。

㊲ トラックスキップ／サーチキー［◀◀/I◀◀、▶▶/▶▶I］

CD 再生中に［◀◀/I◀◀］キーまたは［▶▶/▶▶I］キーを押すと、それぞれ前の曲、次の曲にスキップします。

停止中、これらのキーを使って、演奏を開始する曲を選択することができます。（再生を始めるには、PLAYキーを押します。）

CD再生中に［◀◀/I◀◀］キーまたは［▶▶/▶▶I］キーを押しつづけると、それぞれ、早送り／早戻しができます。

押し続けるうちにスピードが徐々に速くなっていきます。

㊳ STOP／MTRO キー

CD再生を停止します。また、このキーを長く押すとメトロノームメニューに入ります。（→20ページ「メトロノームを使う」）

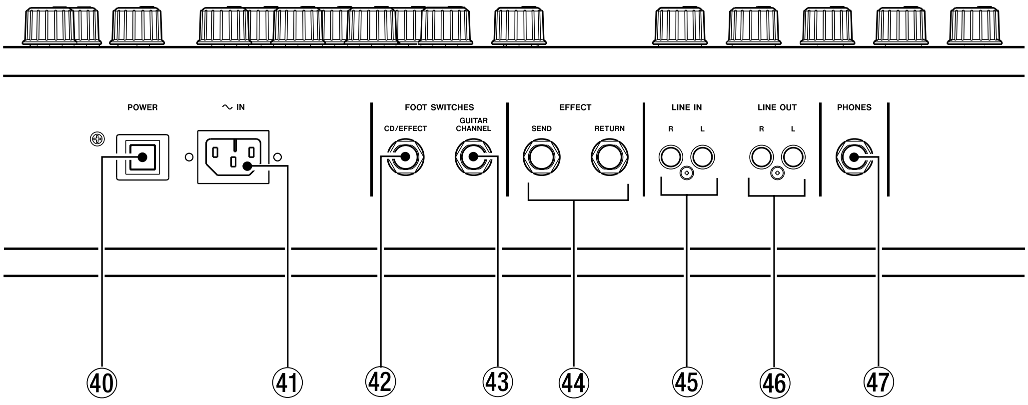
㊴ PLAY／PAUSE キー

CD再生を始めます。

再生中に押すと、一時停止します。

もう一度押すと再生を再開します。

リアパネル



㊵ POWERスイッチ

電源のオン/オフを行ないます。

㊶ ～IN

付属の電源コードを使って電源を接続します。本機は日本国内専用です。（交流）100Vの電源コンセントに接続してください。

㊷ CD/EFFECT FOOT SW 端子

タスカムRC-30Pなどのフットスイッチを接続することにより、フットスイッチを使って再生／一時停止、バンク番号、チューナーのオン／オフなどを切り換えることができます。またこの端子には２回路入りスイッチを用いることも可能です。（→ 21ページ「各種設定を行なう」の「フットスイッチの機能」）

㊸ GUITAR CHANNEL SW 端子

タスカムRC-30Pなどのフットスイッチを接続することにより、フットスイッチを使ってクリーンチャンネルとオーバードライブチャンネルを切り換えることができます。

㊹ EFFECT SEND端子、EFFECT RETURN端子

プリアンプを通ったギター信号を外部エフェクトループに接続するときに使います。

㊺ LINE IN（L、R）端子

外部からのラインレベル信号（シンセサイザー、ギタープリアンプ、MDプレーヤーなど）を接続します。入力された信号はサブスピーカーから出力されます。

㊻ LINE OUT（L、R）端子

MAIN MASTER VOLUMEとSUB MASTER VOLUMEを通った信号、およびLINE IN端子からの入力信号がミックスされて出力されます。

㊼ PHONES端子

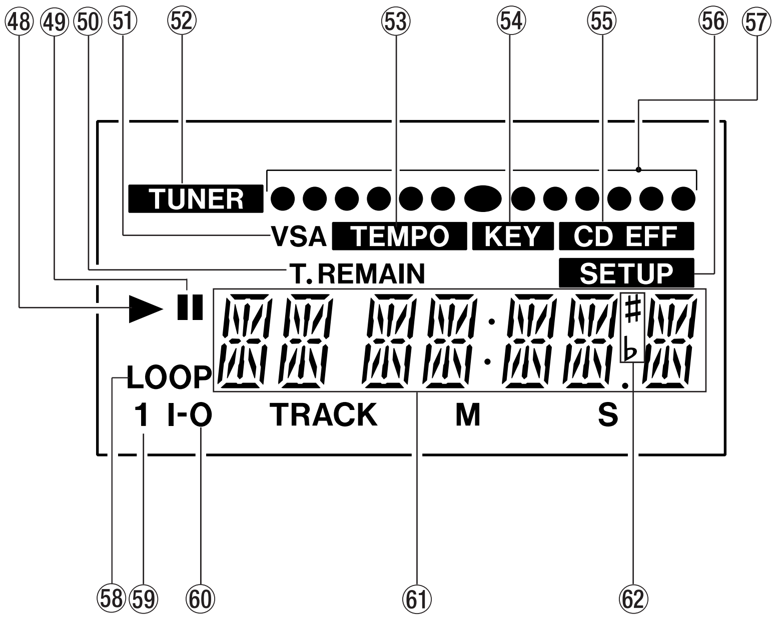
ステレオヘッドホンを接続します。

MAIN MASTER VOLUMEとSUB MASTER VOLUMEを通った信号、およびLINE IN端子からの入力信号がミックスされてヘッドホンに送られます。

メモ

この端子にプラグを差しているときは、本機のスピーカーから音声が出力されません。

LCD部



⑱ PLAYマーク

再生中に点灯します。

⑲ PAUSEマーク

再生一時停止中に点灯します。

⑳ T.REMAIN

T.REMAINは、時間表示部がCDの残り時間表示を示しているときに点灯します。

T.REMAIN＝CD全体

REMAIN＝再生中の曲の残り時間

㉑ VSA

VSA機能（→18ページ参照）がONの時、点灯します。

㉒ TUNER

チューナー使用時に点灯します。

㉓ TEMPO

テンポメニューを開いた時に点滅し、テンポモードが設定されている時に点灯します。

㉔ KEY

キーメニューを開いた時に点滅し、キーモードが設定されている時に点灯します。

㉕ CD EFF

ギターキャンセルモードを開いた時に点滅し、ギターキャンセルモードが設定されている時に点灯します。

㉖ SET UP

セットアップメニューを開いた時に点滅します。

㉗ チューニングメーター

チューニング時の音程を表示します。中央が正しい音程、左に行くほど低くなり、右に行くほど高くなります。

㉘ LOOP

リピート再生（ALL/SGL）が設定されている時に点灯します。

㉙ 1

シングル再生モードが設定されている時に点灯します。

㉚ I-O

区間リピートのIN点を設定すると点滅し、OUT点を設定すると点灯にかわります。

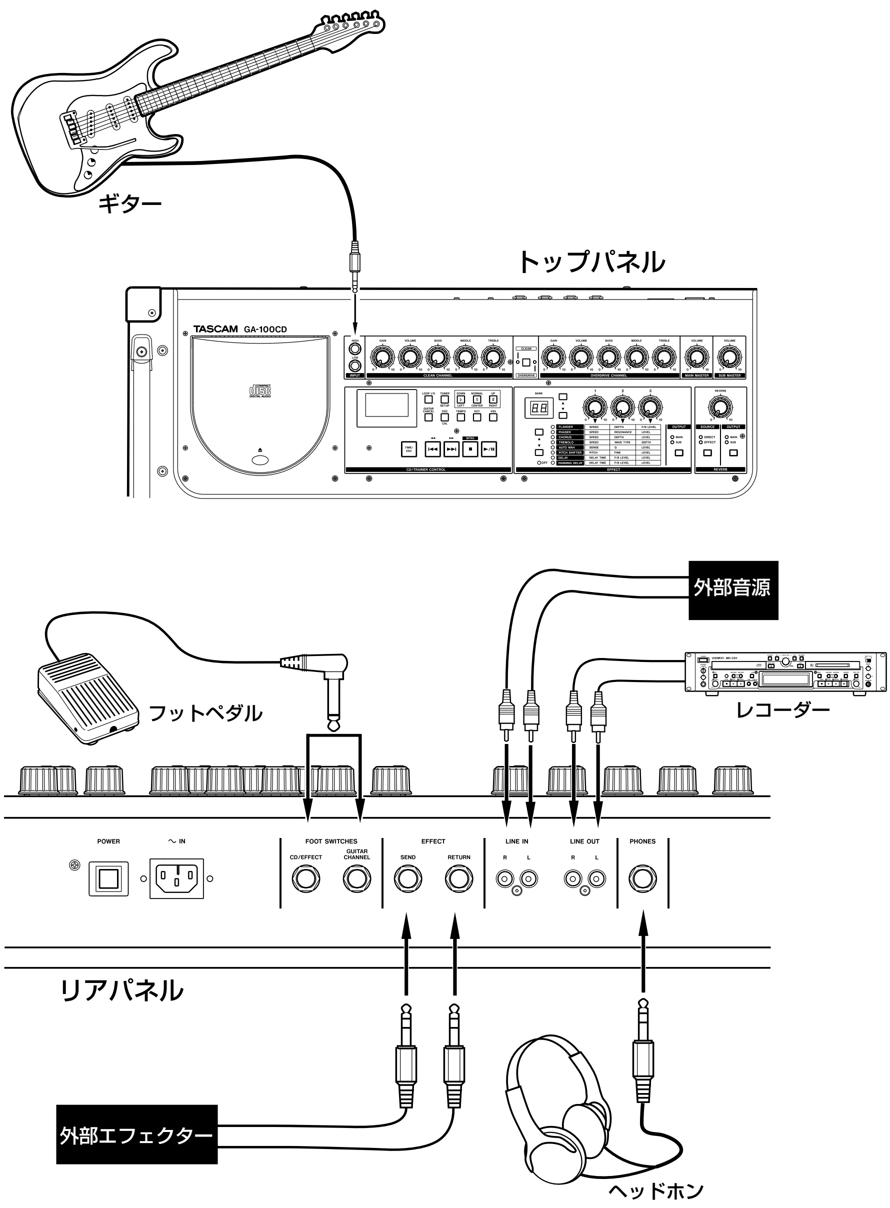
㉛ トラック番号/時間表示

再生中、選択中のトラック番号および時間を表示します。また、各種設定時の表示にも使用します。

㉜ ♯、♭

キーモード使用時に音程を表すときに使用します。

3　接続



ギターの接続

ギターをINPUTセクションのHIGHまたはLOW端子に接続します。

HIGH端子とLOW端子とでは入力インピーダンスが異なり、HIGH端子は6.8MΩ、LOW端子は68kΩです。

パッシブタイプのピックアップを搭載したエレキギターを直接接続する場合、一般に出力インピーダンスが高いので、HIGH端子に接続することをお勧めします。

フットスイッチの接続

フットスイッチを使ってクリーンチャンネルとオーバードライブチャンネルを切り換える場合、リアパネルのGUITAR CHANNEL端子にタスカムRC-30Pなどのフットスイッチを接続します。

また、フットスイッチを使ってエフェクトバンクの切り換えやチューナーのオン／オフ切り換えを行ないたい場合、リアパネルのEFFECT FOOT SW端子にタスカムRC-30Pなどのフットスイッチを接続します。

外部エフェクターの接続

外部エフェクターを使って、本機のプリアンプを通ったギター信号を加工したい場合、EFFECT SEND端子、EFFECT RETURN端子をそれぞれ、外部エフェクターの入力と出力に接続します。

ヘッドホンの接続

本機のスピーカーを鳴らさずにヘッドホンでモニターする場合、PHONES端子にステレオヘッドホンを接続します。PHONES端子に接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

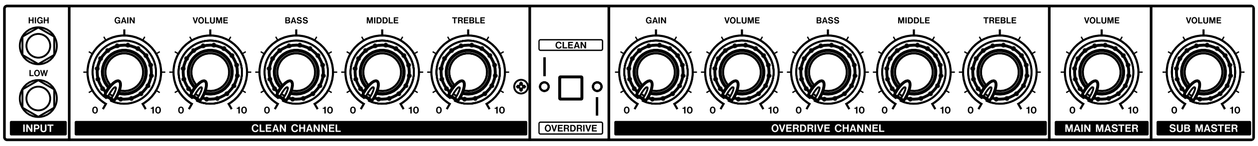
外部音源の接続

外部のシンセサイザー、オーディオ機器などを入力するには、LINE IN端子に接続します。入力された信号はサブスピーカーに送られます。

メモ

LINE INに接続する機器の音量は、接続した機器側で調整してください。

4　ギターアンプを使う



チャンネルを選択する

本機はクリーンチャンネルとオーバードライブチャンネルの２チャンネル構成です。チャンネルスイッチを使ってクリーンチャンネルとオーバードライブチャンネルを切り換えます。

スイッチの設定に応じて、CLEANまたはOVERDRIVEインジケーターが点灯します。

なお上記のように、リアパネルのGUITAR CHANNEL端子にタスカムRC-30Pなどのフットスイッチを接続することにより、フットスイッチによるチャンネル切換が可能です。

音量と音質を調節する

クリーンチャンネル部とオーバードライブチャンネル部には、同様のつまみが装備されています。

各チャンネルの音量は、GAINつまみとVOLUMEつまみで調節します。さらにMAIN MASTER VOLUMEつまみでギターアンプとしての最終的な音量を調節します。

GAINつまみは入力ゲインを変え、VOLUMEつまみはチャンネル出力レベルを変えます。GAINつまみを上げるほど、ひずみが大きくなります。オーバードライブチャンネルでは少しでも上げるとひずみ始めます。クリーンチャンネルではある程度上げないとひずみ始めません。シングルコイルピックアップのギターを接続した場合、４ぐらいの目盛りからひずみ始めます。

したがって、ひずみを掛けるにはオーバードライブチャンネルを選択して、希望のひずみ具合の位置にGAINつまみを設定し、全体の音量をVOLUMEつまみおよびMAIN MASTER VOLUMEつまみで調節します（これらのつまみの位置を変えても音色は変化しません）。

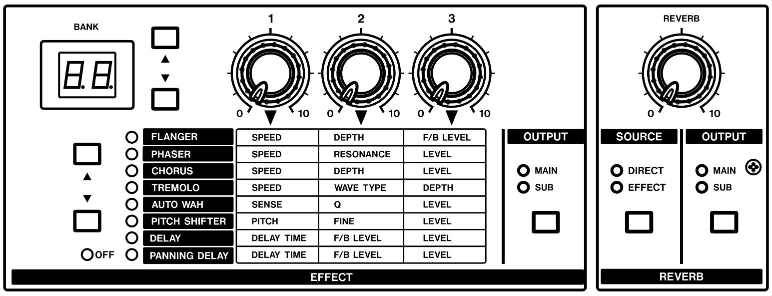
クリーンな音にするには、クリーンチャンネルを選択して、GAINつまみを低めに設定し、全体の音量をVOLUMEつまみおよびMAIN MASTER VOLUMEつまみで調節します。

メモ

MAIN MASTER VOLUMEつまみはメインスピーカー（12インチ）に送る出力信号全体の音量を調節します。ギターアンプ出力だけでなく、エフェクターが出力されるように設定されている場合は、その出力も一緒に調節します。

音質（周波数特性）はBASS、MIDDLE、TREBLEの３つのつまみを使って調節します。

5 エフェクターを使う



本機にはエフェクター（**EFFECT**）とリバーブ（**REVERB**）が内蔵されています。これらはプリアンプ（ノーマルチャンネルまたはオーバードライブチャンネル）の後ろにエフェクター➞リバーブの順に挿入されます。

また、リアパネルの**EFFECT SEND**端子と**EFFECT RETURN**端子を使って外部のエフェクターに接続することもできます。

エフェクター（EFFECT）

エフェクターを選択する

EFFECTセクションのエフェクト選択スイッチ（▲、▼）を使って、ディレイ、パンニングディレイ、フランジャー、フェイザー、コーラス、トレモロ、オートワウ、ピッチシフター（または**OFF**）の中からエフェクトを選択します。選択に応じて、左のエフェクトインジケーターが点灯します。

パラメータを設定する

各つまみを使って、現在選択されているエフェクターの効果量を調節できます。（下表参照）

	エフェクター名	ノブ1		ノブ2		ノブ3	
1	Flanger	SPEED	変調の周波数が0.1 ～ 10Hzまで変化します。	DEPTH	変調の深さを調整できます。	F/B LEVEL	フィードバックのレベルを調整できます。
2	Phaser	SPEED	変調の周波数が0.2 ～ 20Hzまで変化します。	RESONANCE	レゾナンス効果を調整します。	LEVEL	エフェクターの効果量を設定できます。
3	Chorus	SPEED	変調の周波数が0.1 ～ 10Hzまで変化します。	DEPTH	変調の深さを調整できます。	LEVEL	エフェクターの効果量を設定できます。
4	Tremolo	SPEED	変調の周波数が0.2 ～ 20Hzまで変化します。	WAVE TYPE	変調波形を設定できます。0付近で三角波、5付近でサイン波、10付近で矩形波となります。	DEPTH	エフェクターの効果量を設定できます。レベルを最大にすると変調の振幅も最大になります。
5	Auto Wah	SENSE	Auto Wahの反応感度を設定します。	Q	フィルタの特性を設定できます。大きくすると効果が強くなります。	LEVEL	エフェクターの効果量を設定できます。
6	Pitch Shifter	PITCH	音程のシフト量を±1オクターブの範囲で設定できます。中央の位置では効果0となります。	FINE	音程のシフト量を±50 centの範囲で設定できます。中央の位置では効果0となります。	LEVEL	エフェクターの効果量を設定できます。
7	Delay	DELAY TIME	ディレイ時間を10ms ～ 1.1secの間で調整できます。	F/B LEVEL	フィードバックのレベルを調整できます。	LEVEL	エフェクターの効果量を設定できます。
8	Panning Delay	DELAY TIME	ディレイ時間を10ms～1.1secの間で調整できます。左右のSUBスピーカーにフィードバック音を交互に振ります。	F/B LEVEL	フィードバックのレベルを調整できます。	LEVEL	エフェクターの効果量を設定できます。

エフェクターのプリセット

初期の状態では、各バンクには以下のプリセットデータが設定されています。

BANK 番号	Preset Name	使用エフェクター
C1	Super Clean Chorus	Chorus
C2	Clean Pan	Panning Delay
C3	Pitch Chorus	Pitch Shifter
C4	Crunch Wah	Auto Wah
C5	Edgy Flanger	Flanger
D1	Short delay	Delay
D2	Slow Flange	Flanger
D3	Heavy Phaser	Phaser
D4	Heavy Chorus	Chorus
D5	Drive Pan	Panning Delay

エフェクターのプリセットを初期状態に戻す

各種設定のFXRS項目を使い、エフェクターのプリセットを初期状態に戻す事ができます。詳細は21ページ「9　各種設定を行う」の「エフェクタープリセットの初期化」をご覧下さい。

出力を選択する

エフェクト信号（ウェット）を出力するスピーカーを選択することができます。OUTPUTキーを押すたびに設定が変わり、設定に応じてMAIN、SUBまたは両方のインジケーターが点灯します。
ただし、一部のエフェクター（ワウワウ）では“SUB”を選択できないように設定されています。

MAIN：メインスピーカーからギター信号（ドライ）と一緒に出力されます。一般的な設定です。

SUB：サブスピーカーから出力されます。ギター信号（ドライ）とエフェクト信号（ウェット）が別のスピーカーから出力されるため、独特のスペイシーなサウンドを得ることができます。

MAIN＋SUB：メインスピーカーとサブスピーカーの両方から出力されます。SUB MASTER VOLUMEとMAIN MASTER VOLUMEの設定によってバランスが決まります。

メモ

出力するスピーカーの選択によって出てくる音の印象が大きく変わります。切り替えながら音色を調整して好みの音を設定してください。

リバーブ（REVERB）

本機内蔵のリバーブは、古典的なギターアンプのスプリングリバーブをシミュレートしています。

レベルつまみ

リバーブ信号（ウェット）の出力レベルを設定します。

SOURCEキー

リバーブの入力信号を選択します。

DIRECTを選択すると、INPUT端子からプリアンプを通ったギター入力信号にリバーブが掛かります。EFFECTを選択すると、エフェクター出力信号にリバーブが掛かります。両方を選択することも可能です。

OUTPUTキー

リバーブ信号（ウェット）の出力先を設定します。メインスピーカー、サブスピーカーまたは両方に送ることができます。OUTPUTキーを押すたびに出力先設定が変わり、設定に応じてインジケーター（MAIN、SUBまたは両方）が点灯します。
バンクの内容は、BANK切り替え時やパラメーターを変更したときに内蔵メモリに記録されます。

エフェクトバンク

本機にはエフェクター（エフェクターとリバーブ）の設定を保存するためのバンクが10個用意されています（C1～C5およびD1～D5）。C1～C5にはクリーンチャンネル、D1～D5にはオーバードライブチャンネルの設定を保存することができます。

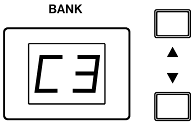
バンクを切り換える

本機のギターチャンネル（クリーンチャンネルとオーバードライブチャンネル）を切り換えると、それぞれのチャンネルで前回使ったバンクが呼び出されます。

例えば、クリーンチャンネルでC3を使用後、オーバードライブチャンネルでD4を使用し、その後クリーンチャンネルに切り換えた場合、C3が呼び出されます。

バンク番号はBANK表示窓に表示されます。

同じチャンネル内でバンクを切り換えるには、バンク選択キー（▲、▼）またはフットスイッチを使います。



ご注意

バンクを呼び出したとき、インジケーター類は現在のバンク設定を表示しますが、つまみ（EFFECTの1、2、3およびREVERBのレベル）の位置は動かないため実際の設定と一致しません。この状態でつまみを動かすと、そのつまみの設定が物理的位置に更新されます。

フットスイッチでバンクを切り換えるには

1 EFFECT FOOT SW端子フットスイッチを接続します。

2 セットアップモードのFOOT項目をBANK＋またはBANK－に設定します。

フットスイッチを押すたびにバンク番号のインクリメントまたはデクリメントを行ないます。（→21ページ「各種設定を行なう」）

またデュアルフットスイッチを使用すると、一方のペダルでインクリメント、もう一方のペダルでデクリメントを行なうことができます。

6 CDプレーヤーを使う

CDを再生する

1 CDプレーヤーカバーの手前を軽く押してカバーを開けます。

2 トレイにCDを正しく載せ、カバーを閉じます。

3 ▶/II キーを押すと再生を開始します。

- 再生を停止するには■キーを押します。
- 再生を一時停止するには、▶/II キーを押します。
- トラックを前後にスキップするには、⏮（◀◀）キーまたは⏭（▶▶）キーを押します。
- サーチを行なうには⏮（◀◀）キーまたは⏭（▶▶）キーを押したままにします。

メモ

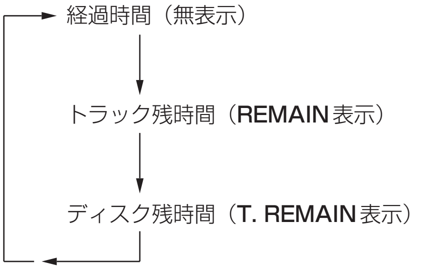
再生中にカバーを開けると、再生を停止します。

CD再生レベルの調節

♭キー／♯キーを使って、サブスピーカーに送られるCD再生レベルを11段階で調節することができます（表示窓が時間表示のとき）。標準は5に設定されています。

時間表示を切り換える

TIME/ESCキーを押すたびに表示窓の時間表示が以下の順で切り換わります。



希望の範囲を繰り返し再生する

以下の手順で、希望の区間を繰り返し再生（ループ再生）することができます。

1 CD再生中（または一時停止中）、ループ再生したい区間の始点でLOOP I/Oキーを押します。

現在位置がIN点（始点）として設定され、表示窓に"I-O"が点滅します。

2 ループ再生したい区間の終点でLOOP I/Oキーを押します。

現在位置がOUT点（終点）として設定され、IN－OUT点間のループ再生が開始されます。

ループ再生中、表示窓に"I-O"が点灯します。

- ループ再生を終了するには：

LOOP I/Oキーを押します。ループ再生を終了して、通常の再生を継続します。このときIN点とOUT点の設定は解除されます。また、LOOP I/Oキーを長く押すと、IN点とOUT点の設定を保存したままループ再生をオン/オフすることができます。

1曲または全曲を繰り返し再生する

現在の曲またはディスクの全曲を繰り返し再生することができます。

1 あらかじめ、SETUPモードのPLAYメニューで全曲ループ（ALL）または1曲ループ（SGL）を選択しておきます。

選択方法については「各種設定を行なう」（21ページ）をご覧ください（初期設定は"ALL"）。

2 LOOP I/Oキーを長く押します。

上記設定に応じて、全曲または1曲のループ再生を開始します。

- ■キーを押すと再生を終了します。
- LOOP I/Oキーを長く押すと、ループ再生を終了して、通常の再生を継続します。

メモ

IN点とOUT点が設定されている場合は、一度LOOP I/Oキーを押して設定を解除してください。

テンポを変える

再生する曲のテンポを変えることができます。

テンポの設定

以下の手順でテンポの設定を行ないます。

1 TEMPOキーを長く押します。

表示窓に"TMP"と表示されて、テンポ設定画面になります。

2 ♭／♮／♯キーを使ってテンポを設定します。

テンポ値を0以外に設定すると、テンポモードがオンになり、設定されたテンポに従って再生が行なわれます。

表示窓に"TEMPO"が点灯します。

VSA機能（次項参照）がオンのときとオフのときとで、テンポ設定ステップが異なります。

VSAオン時：－50、－32、－16、－12、－8、－4、0、＋4、＋8、＋12、＋16（%）

VSAオフ時：－50%～＋16%の範囲を1%刻みで設定可能

メモ

VSAオフ時にテンポ値を設定し、その後VSAをオンに切り換えた場合、最も近いテンポ値に自動変更されます。

3 設定を終えたら、TIME/ESCキーを押して、時間表示画面に戻します。

テンポモードのオン／オフ

TEMPOキーを押すと、テンポモードのオン／オフが切り換わります。

オンからオフに切り換えたとき、テンポ値は記憶されていますので、次回オンにしたときは以前のテンポ値で再生が行なわれます。

キーを変えずにテンポを変える（VSA）

本機のVSA機能（Variable Speed Audition）をオンにすると、曲のキーを保ったままテンポを変えることができます。

VSA機能のオン／オフを切り換えるには、VSAキーを押します。オンのとき、表示窓に"VSA"が点灯します。

VSA機能をオン／オフにすると、テンポモードも同時にオン／オフします。

キーを変える

テンポを変えずにキーだけを半音単位で変えることができます。

キーの設定

1 KEYキーを長く押します。

キー設定画面が表示されます。

2 ♭／♮／♯キーを使ってキーを設定します。

±6半音の範囲（♭6〜♯6）でキーを上下できます。

キーを変えると（0以外に設定すると）、キーモードがオンになり、設定に従ったキーで再生が行なわれます。

表示窓に"KEY"が点灯します。

3 キーの微調整をするには、再度KEYキーを押します。

4 ♭／♮／♯キーを使ってキーを微調整します。

セント（半音の1/100）単位でキーを上下できます。

メ モ

上記手順2でキーを変更しない場合（0に設定した場合）でも、手順3で微調整を行なうとキーモードがオンになります。

5 設定を終えたらTIME/ESCキーを押します。

表示窓が時間表示に戻ります。

キーモードのオン／オフ

KEYキーを押すと、キーモードのオン／オフが切り換わります。

オンからオフに切り換えたとき、キー設定値は記憶されていますので、次回オンにしたときは以前のキー値で再生が行なわれます。

ギターの音をキャンセルする

CDに録音されているギターの音を削減することができます（ギターキャンセル機能）。

ギターキャンセル機能のオン／オフを切り換えるには、GUITAR CANCELキーを押します。ギターキャンセル機能をオンにすると、表示窓に"CD EFF"が点灯します。

ギターキャンセル機能の設定を行なう

キャンセルした音の定位や音域を変更する場合は以下の操作を行ないます。

1 GUITAR CANCELキーを長く押します。

表示窓に"PART"が表示されます。

2 再生音を聞きながら、♭／♮／♯キーを使って、最もギターの音が削減される定位（L10〜R10）を選択します。

3 GUITAR CANCELキーを押します。

表示窓に"RNGE"が表示されます。

4 再生音を聞きながら、♭／♮／♯キーを使って、キャンセルする音域（MID=**中音域**、またはALL=**全音域**）を選択します。

5 設定を終えたらTIME/ESCキーを押します。

表示窓が時間表示に戻ります。

メ モ

設定した値は記憶されますので、ギターキャンセル機能をオンにしたときは以前の設定に従います。

CD再生レベルの設定

時間表示中に♭キー／♯キーを使ってサブスピーカーに送られるCD再生レベルを設定することができます（0〜10の範囲）。

また、♮キー（♯と♭の間のキー）を使うと、初期設定の5に戻ります。

7 チューナーを使う

GA-100CDはギターチューナーを内蔵しています。
チューナーモードには、クロマティックモードとギターモードの２種類があります。
クロマティックモード（初期設定）では、本機が入力信号の音程を自動的に検知します。これに対してギターモードでは、あらかじめチューニングする弦を指定します。

準備

チューニングモードを選択する

セットアップモードのTMODメニューで、チューニングモードを選択します。クロマティックモード（CHR）とギターモード（GTR）の２つのモードがあります（初期設定は"CHR"）。

選択方法については「各種設定を行なう」（21ページ）をご覧ください。

スピーカーのオン／オフを設定する

セットアップモードのTOUTメニューで、チューナー音をスピーカーから出力するかしないかを選択することができます（初期設定は"OFF"）。

選択方法については「各種設定を行なう」（21ページ）をご覧ください。

基準周波数を設定する

チューナーの基準周波数（A音）を設定することができます。

1 OSC/CALキーを長く押します。

 表示窓にCALと表示されてキャリブレーションモードになります。

2 ♭キーまたは♯キーを押して、基準周波数を設定します。435Hz～445Hzの範囲で設定できます。

 ♮キーを押すと440Hz（初期設定）に戻ります。

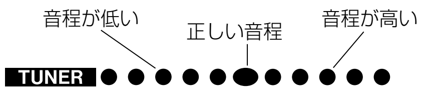
3 設定を終えたら、OSC/CALキーまたはESCキーを押してキャリブレーションモードを終了します。

 表示窓が時間表示に戻ります。

クロマティックモードでチューニングする

1 ギターを入力し、TUNERキーを押します。

 表示窓に"TUNER"が点灯し、チューニングメーターが表示されます。



 チューニングしたいギターの弦を弾くと、最も近い音名が表示されます。

2 合わせたい音名が表示されるよう、ラフにチューニングを行ないます。

3 メーターの中央のドットだけが点灯するように、チューニングします。

 音程が低い場合、左側のドットが点灯します。音程が高い場合、右側のドットが点灯します。ズレが大きいほどドットが多く点灯します。

4 チューニングを終えたら、TIME/ESCキーを押してチューナーモードを終了します。

 表示窓が時間表示に戻ります。

ギターモードでチューニングする

1 ギターを入力し、TUNERキーを押します。

 表示窓に"TUNER"が点灯し、チューニングメーターが表示されます。同時に右側に6Eと表示され、６弦をチューニングするように表示されます。

2 ♭キーまたは♯キーを使ってチューニングしたい弦（1E、2B、3G、4D、5A、6E）を選びます。

3 メーターの中央のドットだけが点灯するようにチューニングします。

4 チューニングを終えたら、TIME/ESCキーを押してチューナーモードを終了します。

 表示窓が時間表示に戻ります。

8　オシレーター／メトロノームを使う

オシレーターを使う

内蔵のオシレーターを使って、3オクターブ（C3音〜B5音）の範囲のサイン波をスピーカーから出力することができます。

1 **OSC/CAL** キーを押すと表示窓に **OSC** と表示されます。

2 **♭**キーまたは **#** キーを押して、発生する音を選択します。

初期設定は **A4** です。

選択している音名（C3〜B5）が画面に表示されます。

3 設定を終えたら **TIME/ESC** キーを押してオシレーターモードを終了します。

表示窓が時間表示に戻ります。

メ モ

オシレーター出力の基準周波数はキャリブレーションモードの設定に従います。（→19ページ「基準周波数を設定する」）

メトロノームを使う

本機にはメトロノームが内蔵されています。以下の手順でテンポと拍子を設定します。

1 **■** キーを長く押します。

メトロノームモードになります。この時点でメトロノームはオフの状態です。

2 **♭** キー／ **#** キーを使って、テンポ（**Tempo**）を設定します。設定するとメトロノームが **ON** になります。

テンポは **40** 〜 **220** の範囲で設定できます。

3 **■** キーをポンと押します。

♭ キー／ **#** キーを使って、拍子（**Beat**）を設定します。

拍子は **2** 〜 **6** の範囲で設定できます。

4 設定を終えたら **TIME/ESC** キーを押してメトロノームモードを終了します。

表示窓が時間表示に戻ります。

9 各種設定を行なう

セットアップモードを使って本機の各種設定を行なうことができます。

TUNER/SETUPキーを長く押すとセットアップモードになります。このモード中、TUNER/SETUPキーを押すたびに設定項目が切り換わります。各項目では、♭キー/♯キーを使って値を選択します。♮キーを押すとデフォルトに戻ります。

設定項目

- 再生モードの選択。
- フットスイッチの機能選択。
- フットスイッチの極性設定。
- チューナーモードの選択。
- チューナー音のスピーカー出力オン／オフ。

設定を終えたらTIME/ESCキーを押してセットアップモードを終了します。

再生モードの選択

ループ再生機能を使って、CD再生時にディスク全曲再生する（ALL）か1曲のみ再生する（SGL）かを選択します。

初期設定はALLです。

フットスイッチの機能

FOOT項目を使って、CD/EFFECT FOOT SW端子に接続されたフットスイッチの機能を選択します。

PLAY/PAUSE：再生／一時停止の切り換え

BANK＋：バンク番号のインクリメント

BANK－：バンク番号のデクリメント

TUNER ON/OFF：チューナーのオン／オフ

CD/EFFECT FOOT SW端子には２回路入りのスイッチを用いることができます。２回路入りのスイッチを接続してフットスイッチの機能のBANK＋、およびBANK－項目を使用すると、２回路目のスイッチが１回路目のスイッチと逆の動作になります。

フットスイッチの極性

POL項目を使って、フットスイッチの極性（NORまたはINV）を設定します。ご使用のフットスイッチに合わせて選択します。

初期設定はNORです。

チューナーモードの選択

TMOD項目を使って、チューナーモードを選択します。

CHR（初期設定）：クロマチックモード

GTR：ギターモード

チューナー音のスピーカー出力オン／オフ

チューナーの音をスピーカーから出力する（ON）かしない（OFF）かを設定します。

初期設定はOFFです。

エフェクタープリセットの初期化

FXRS項目を使ってエフェクターの全てのBANK設定を初期状態に戻すことができます。

FXRS項目を選択すると表示窓に“NO”と表示されます。♯もしくは♭キーを押すと“YES”表示になります。

この状態でナチュラルキーを長押しすると、全てのエフェクターBANKが初期設定状態で上書きされます。

初期化が終了すると表示窓に“DONE”と表示され、その後時間表示に戻ります。

注 意

エフェクタープリセットの初期化を実行すると、保存されている全てのBANK設定は初期状態に戻りますので、注意してください。

音作りの参考例

エフェクター設定例を下記の表に示します。
クリーンチャンネルおよびオーバードライブチャンネルの設定も含んでいますので、音作りの参考としてご利用ください。なお、使用するギターのタイプによって音色は変化しますので、ご自分のお好みの音が出るように調整していただくことをお奨めします。

EFFECT NAME	Preset Name	NOTE		Pre Amp				Knob1	Knob2	Knob3	FX OUTPUT	REV LEV	REV INPUT	REV OUTPUT	Factory preset number
Flanger			GT Channel	GAIN	BASS	MID	TRBL	SPEED	DEPTH	F/B LEVEL					
	Edgy Flanger	Flangerを使ってエッジの立ったカッティング向けサウンド。	CLEAN	3	10	6	7.5	4	5	8	MAIN	0	DIRECT	SUB	C5
	Wide Flanger	Flangerを使ったワイドなステレオサウンド。	CLEAN	3	10	6	7.5	6.5	8	8	SUB	1	DIRECT	SUB	
	Slow Flange	ヘビーフランジャーサウンドをステレオで再現。	OD	7	6	7	7	1	5	10	BOTH	2	BOTH	SUB	D2
	Classic Flanger	オーソドックスなヘビーフランジャーサウンド。	OD	3	6	7	6	5	5	10	BOTH	1	EFFECT	MAIN	
Phaser			GT Channel	GAIN	BASS	MID	TRBL	SPEED	RES	LEVEL					
	Classic Phaser	クリーンでカッティングするのに気持ちいい。	CLEAN	3	3	5.5	7	1.5	1.5	10	MAIN	0	EFFECT	MAIN	
	Clean Phaser	クリーンでアルペジオを弾くときに気持ちよい揺れのPhaserサウンド。	CLEAN	4	6	10	8.5	4	7	8.5	BOTH	2	EFFECT	SUB	
	Heavy Phaser	ヘビーなフェイザーサウンド。	OD	9	6	7.5	5	2	2	10	MAIN	1	EFFECT	MAIN	D3
	Solo Phaser	ダブリング風70年代Phaserサウンド。ソロ向き。	OD	7	6	6	7	6	9	10	BOTH	1	EFFECT	SUB	
Chorus			GT Channel	GAIN	BASS	MID	TRBL	SPEED	DEPTH	LEVEL					
	Super Clean Chorus	クリーンサウンドがさらにクリーンに聞こえる明るいコーラスサウンド。	CLEAN	4	8	5	10	6.5	10	10	SUB	3	BOTH	BOTH	C1
	Dirty Chorus	ブルースのソロに合うダーティなコーラスサウンド。	CLEAN	7	10	9	10	6.5	6.5	10	MAIN	2.5	DIRECT	MAIN	
	Heavy Chorus	ベビーなサウンドをコーラスでさらにベビーにアレンジしたぶ厚いバッキング向けサウンド。	OD	8	9	3	10	3	3	10	BOTH	1	EFFECT	SUB	D4
	Solo Chorus	ソロ向けのステレオ感たっぷりのコーラスサウンド。	OD	6.5	7	6.5	3.5	7.5	4	9	SUB	1	DIRECT	SUB	
Tremolo			GT Channel	GAIN	BASS	MID	TRBL	SPEED	WAVE TYPE	DEPTH					
	Clean Tremolo Solo	クリーンなソロ向けのトレモロサウンド。	CLEAN	5	10	7.5	7	7	3	7	MAIN	2	EFFECT	BOTH	
	Panning Tremolo	5inch speakerのみを出力に使ったPANサウンド。	CLEAN	4	7	7	7	4.5	1	10	SUB	3	EFFECT	SUB	
	Waver Solo	ソロ向けの浅いトレモロサウンド。うっすらとかけるのが効果的。	OD	6	6.5	7	3.5	8	9	4	MAIN	1	EFFECT	BOTH	
	Shockwaver	和音が強調される効果の分かりやすい大胆なトレモロサウンド。	OD	8	9	8	8	10	10	6	MAIN	2	EFFECT	BOTH	

EFFECT NAME	Preset Name	NOTE		Pre Amp				Knob1	Knob2	Knob3	FX OUTPUT	REV LEV	REV INPUT	REV OUTPUT	Factory preset number
Auto Wah			GT Channel	GAIN	BASS	MID	TRBL	SENSE	Q	LEVEL					
	Clean Wah	クリーンなオートワウのカッティング向けセッティング。	CLEAN	4	6	5	7	4	5	10	MAIN	1	EFFECT	SUB	
	Crunch Wah	クランチなオートワウのセットアップ。ハムバッキングピックアップ向き。	CLEAN	7	10	9	7	4	8	10	MAIN	0	EFFECT	SUB	C4
	Drive Wah	ドライブCHを使ったクランチワウサウンドセッティング。	OD	4	8	7	3	5	8	10	MAIN	0	EFFECT	SUB	
	Solo Wah	ソロ向けのオートワウ設定をドライブCHを使って設定。	OD	10	10	5	5	4	8	10	MAIN	1	EFFECT	BOTH	
Pitch Shifter			GT Channel	GAIN	BASS	MID	TRBL	PITCH	FINE	LEVEL					
	Pitch Chorus	アルペジオやコードストローク向けのFINEを利用した自然なコーラス効果サウンド。	CLEAN	3	7	7	7	5	6.5	10	SUB	5	DIRECT	SUB	C3
	Plus 1 octerb	ローコードのストロークやアルペジオ向けのオクターバー効果。	CLEAN	3	5	2	9	10	5	4	SUB	6	EFFECT	SUB	
	Double Chorus	ソロ向けのダブリング+コーラス効果をピッチシフターでナチュラルに作ったサウンド。	OD	5	2	6.5	5	5	3.5	7	SUB	1	EFFECT	BOTH	
	Hell Low	超ヘビーサウンドに一オクターブ下の音を加えてさらにヘビーなサウンド。	OD	8	6	1	10	0	5	8	SUB	1	BOTH	BOTH	
Delay			GT Channel	GAIN	BASS	MID	TRBL	DELAY TIME	F/B LEVEL	LEVEL					
	Very Short	超ショートディレイを左右に振ることでアルペジオからカッティングにも使える広がりのあるサウンド。	CLEAN	4	10	10	7	2	2	7	SUB	1	BOTH	BOTH	
	Backing Delay	フィードバックを多めにとって厚みを加えたバッキング向けディレイサウンド。	CLEAN	7	10	7	7	1	9	8	BOTH	0	BOTH	BOTH	
	Short Delay	常に使いたくなるような音に厚みを加えるショートディレイサウンド。	OD	10	10	6	7	2	8	7	SUB	1	EFFECT	SUB	D1
	Solo Delay	比較的長めのディレイでロングトーンの多いバッキングやソロ向けのディレイサウンド。	OD	10	10	7	4	6	3	4	SUB	2	BOTH	BOTH	
Panning Delay			GT Channel	GAIN	BASS	MID	TRBL	DELAY TIME	F/B LEVEL	LEVEL					
	Clean Pan	クリーンサウンドを左右に振る臨場感あふれるパンニングディレイ。	CLEAN	4	8	8	8	3	3	3	SUB	4	EFFECT	SUB	C2
	Long Clean Pan	クリーンのリズミカルな演奏向きのロングパンニングディレイ。	CLEAN	7	6	5	6	7	9	4	BOTH	4	EFFECT	BOTH	
	Drive Pan	ソロにもバッキングにも使えるパンニング設定のディレイサウンド。	OD	8	10	7	7	4	3	4	SUB	2	EFFECT	SUB	D5
	Stereo Delay	ソロ向きのリピートの多いステレオ感あふれるパンニングディレイ。	OD	5	6	5	3	3	9	5	SUB	1	EFFECT	SUB	

● MAIN, SUB MASTER VOLUMEはどちらも5の位置（Center）
● 各ボリュームの数値は0から10のボリューム目盛り位置

10 仕様

GUITAR AMP部

定格出力

MAIN	60W/ 8 Ω
SUB	20W ＋20W/ 8 Ω

スピーカー

MAIN	12インチ
SUB	5インチ×2

入力

GUITAR INPUT (HIGH)	アンバランス 1/4インチジャック
基準入力レベル	－38 dBu
入力インピーダンス	6.8 M Ω
GUITAR INPUT (LOW)	アンバランス 1/4インチジャック
基準入力レベル	－32dBu
入力インピーダンス	68K Ω
ヘッドルーム	N/A
EFFECT RETURN	アンバランス 1/4インチジャック
基準入力レベル	－2dBu
入力インピーダンス	22K Ω
LINE INPUT	RCA ピンジャック
基準入力レベル	－10dBv
入力インピーダンス	22K Ω

出力

EFECT SEND	アンバランス 1/4インチジャック
基準出力レベル	－2dBu
最大出力	＋14dBu
出力インピーダンス	470 Ω
LINE OUT	アンバランス 1/4インチジャック
基準出力レベル	－10dBv
最大出力	＋6dBv
出力インピーダンス	470 Ω
HEADPHONE	6.3 φステレオフォンジャック
出力	30mW以上/ 39 Ω

内蔵エフェクタ（モノ/ステレオ）

種類	ディレイ、パンニングディレイ、フランジャー、フェイザー、コーラス、トレモロ、オートワウ、ピッチシフター リバーブ
プリセット数	10（クリーンチャンネル用 5）（ドライブチャンネル用 5）

CD部

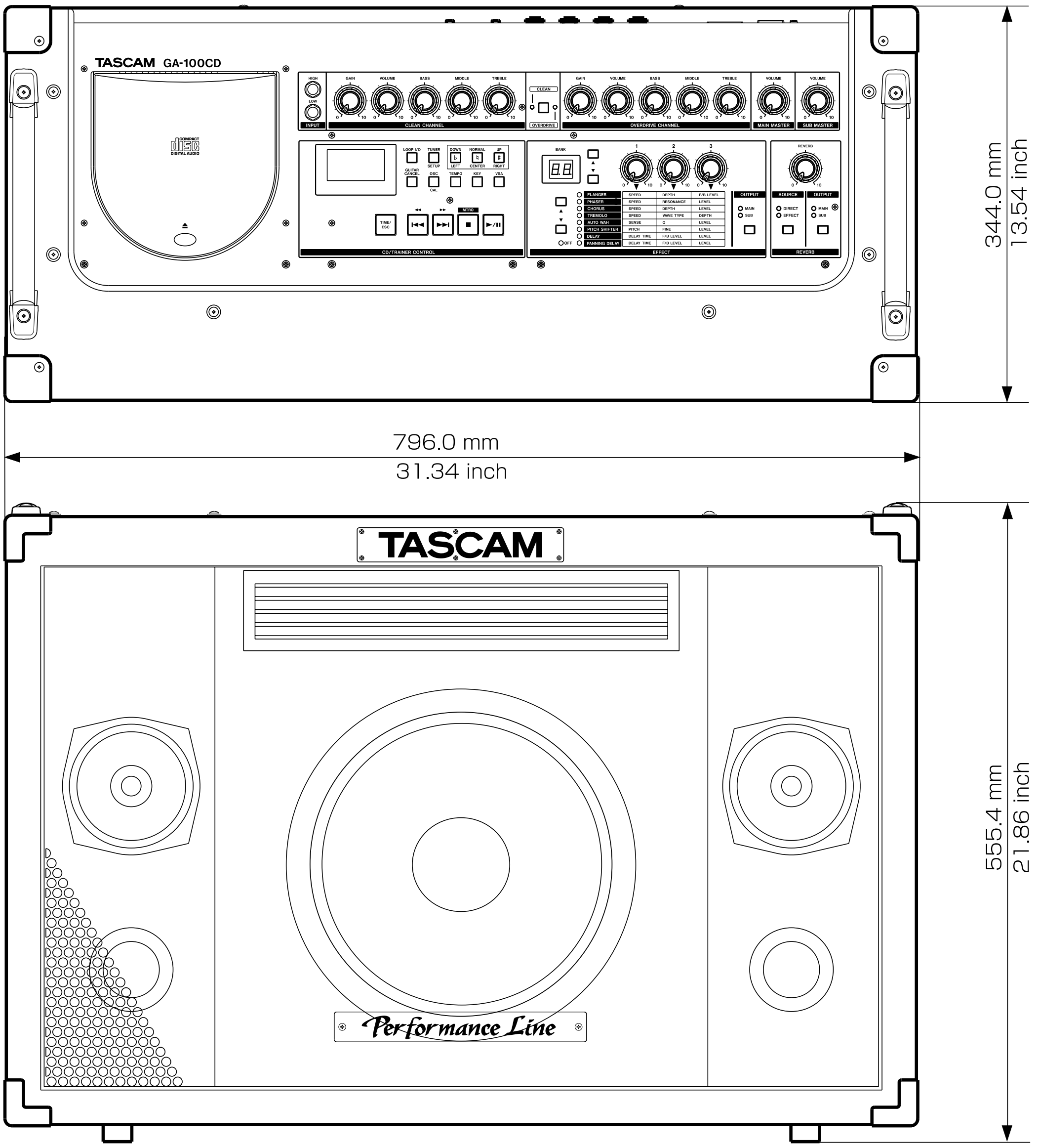
使用ディスク	8cm /12cmCD（オーディオ CD のみ対応）
AD/DA	16ビット
デジタル信号処理	32ビット

再生特性

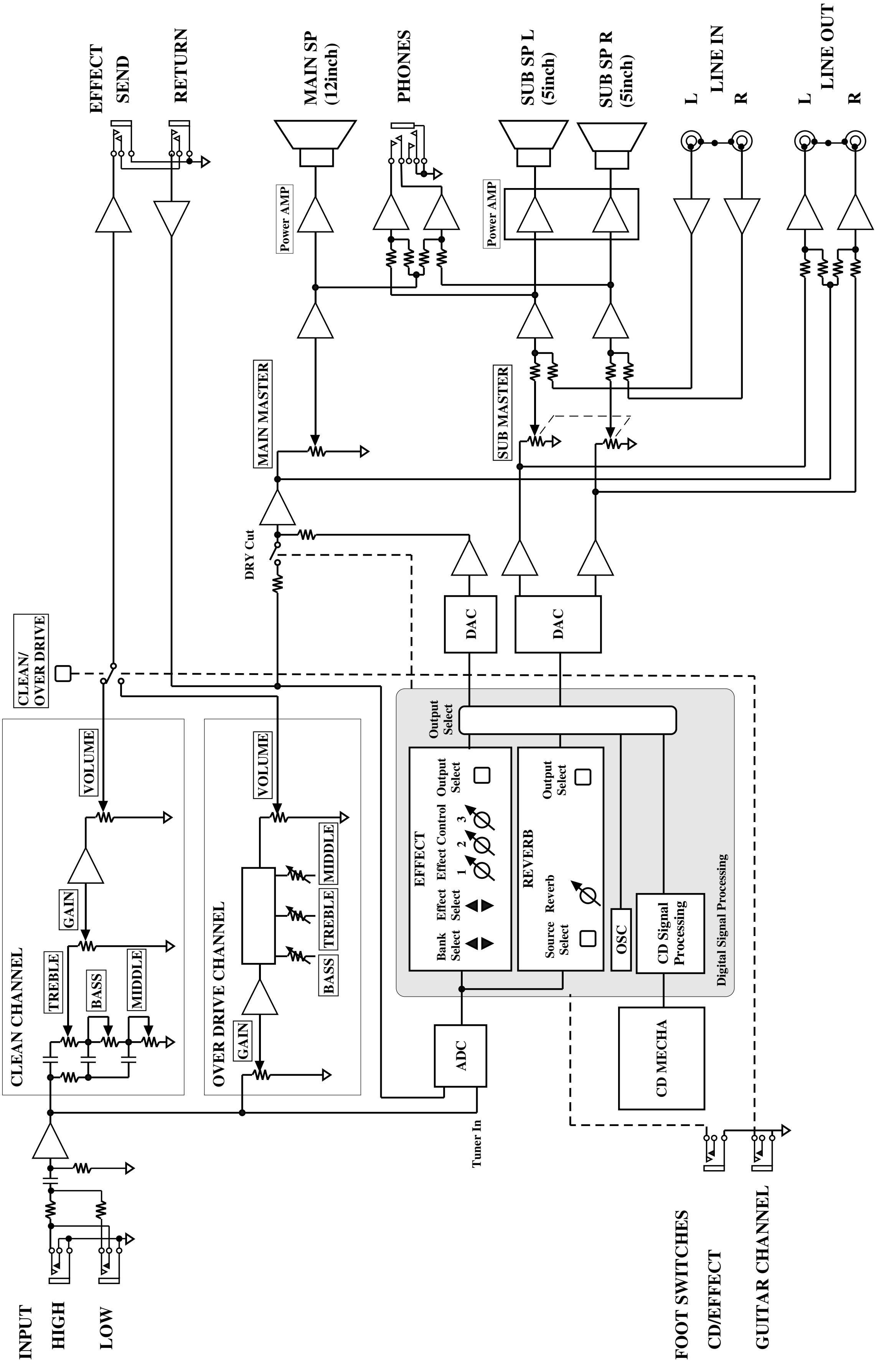
周波数特性	20Hz to 20KHz ± 1.0dB
ダイナミックレンジ	＞88dB
S/N比	＞88dB
歪率	＜0.01%

電源	100 VAC, 50－60Hz
消費電力	80W
外形寸法(W × H × Dmm)	796.0 × 555.4 × 344.0
重量	36Kg

寸法図


TASCAM GA-100CD
344.0 mm
13.54 inch
796.0 mm
31.34 inch
TASCAM
Performance Line
555.4 mm
21.86 inch

ブロックダイアグラム


EFFECT
SEND
RETURN
MAIN SP
(12inch)
PHONES
SUB SP L
(5inch)
SUB SP R
(5inch)
L
LINE IN
R
L
LINE OUT
R
Power AMP
Power AMP
MAIN MASTER
SUB MASTER
DRY Cut
CLEAN/
OVER DRIVE
DAC
DAC
Output
Select
EFFECT
Bank
Select
Effect
Select
Effect Control
1 2 3
Output
Select
REVERB
Source
Select
Reverb
Output
Select
OSC
CD Signal
Processing
Digital Signal Processing
ADC
CD MECHA
Tuner In
CLEAN CHANNEL
VOLUME
GAIN
TREBLE
BASS
MIDDLE
OVER DRIVE CHANNEL
VOLUME
MIDDLE
TREBLE
BASS
GAIN
INPUT
HIGH
LOW
FOOT SWITCHES
CD/EFFECT
GUITAR CHANNEL

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

タスカム営業技術　〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5106 / FAX：0422-52-6784

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:00～17:00です。

ティアック修理センター　〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7

市内通話料でOK ナビダイヤル®

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
http://www.teac.co.jp/tascam/

Printed in China